

# ABeam Consulting CSR REPORT 2019

## 会社概要

アビームコンサルティング株式会社 (ABeam Consulting Ltd.)

設立年月日: 1981年(昭和56年)4月1日

従業員数: 5,915名(2019年4月1日現在 連結)

資本金: 62億円

代表者: 代表取締役社長 岩澤 俊典

営業内容: マネジメントコンサルティング/ビジネスプロセスコンサルティング/  
ITコンサルティング/アウトソーシング

連結売上高: 858億円(2019年3月期)

海外拠点数: 12の国と地域 28拠点(2019年4月1日現在 子会社含む)

### Web CSR サイトのご紹介

アビームコンサルティング CSR サイト

<https://www.abeam.com/jp/ja/about/csr>

当社のCSR活動をWebサイトでも公開しています。

本誌に関連する詳細な情報も掲載していますので、ぜひご覧ください。

### ■アビームコンサルティングの最新情報を知りたい方

広報誌「ABeam」

<https://www.abeam.com/jp/ja/topics/publications/kouhoushi2018>

「アビームコンサルティングの－いま－を伝える」をテーマとした広報誌です。  
第一線で活躍する当社のコンサルタントが、経営課題解決に向けた見解など、  
日々の業務遂行に役立つ情報をご紹介します。

## アビームコンサルティング株式会社

〒100-0005

東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング

TEL: 03-6700-8800 FAX: 03-6700-8801

[www.abeam.com](http://www.abeam.com)



# CSR REPORT 2019

## Collective Impact

[ 共創型アプローチ ]



# 共創型アプローチで 社会課題の解決へ

代表取締役社長 岩澤 俊典



## パーパスはリアルパートナーとして顧客の要望を実現すること

**森** アビームコンサルティングは、2003年にデロイトグループから独立して以来、社員数が数百人規模から約6,000人に急増しました。成長するためには強い理念が必要ですね。

**岩澤** 会社を支えるのは「文化」です。個々の社員が日々、意思決定をしています。その後ろには必ず「社風」があります。会社のさまざまな文化を一つのベクトルとして、どう固めていくか、どういうカルチャーに創り上げていくかが、経営の最も重要な役割です。

**森** 文化とは「アビームらしさ」ですね。ひと言で表すとどんな言葉になりますか。

**岩澤** 最も大事にしているのは「リスペクト」です。顧客からも上司や同僚からも、社会からもリスペクトされることです。

それを伝えるために、どれだけ成績を上げたかなど、必ずしも画一的な指標による評価ではなく、周りからリスペクトされている人材を登用しています。自分がリスペクトされるには、まず相手をリスペクトすることが大切です。この考え方は特にクライアントに対して重要で、こちらはアドバイスをする立場ですが、まずは顧客をリスペクトすることが「リアルパートナー」としての前提となります。

**森** 近年、米国や欧州では「パーパス」(存在意義)という概念が重要視されています。

**岩澤** 顧客が望んでいることをどのように実現するか。これが当社の存在意義です。世の中には常に新しい考え方、テクノロジーが出てきますが、その中で、

クライアントに何を提案すれば、変革や成長ができるのか。私たち自身が先を走ってリアリティを持って実行することが重要です。新しい技術や考え方を実際の業務に活用することが、アビームのパーパスだと考えています。

## 新技術の事業化ノウハウを提供し、顧客のパーパス実現

**森** アビームのSDGs (持続可能な開発目標) への取り組みにおいて、社会的な課題を自社サービスとして解決していくためには何が必要ですか。

**岩澤** 顧客と一緒に社会課題の解決をすること、すなわち、「コレクティブインパクト(共創型アプローチ)」です。顧客のパーパス実現にあたって、一緒にサポートすることです。

**森** 総務省との災害対策プロジェクトにも参画されていますね。

**岩澤** 総務省が中心となって、災害時の情報収集に関する実証実験を行っており、当社がこれを支援しています。具体的には、災害発生時に発信される、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)のさまざまな情報を高度な自然言語処理の技術を使って瞬時に分析し、

公的機関の対応に活用するプロセスの構築と実証実験をしました。

顧客のパーパスに対して当社のパートナーシップのノウハウをどう生かすか。常に新しい技術を事業に落とし込むスピードとプロセスを重要視しています。

**森** アビームの場合は、「顧客と社会の境界線」があまりなく、「社会そのものが顧客」とも言えるのではないのでしょうか。

**岩澤** 顧客もそれぞれ、事業活動を通じて社会に貢献することが存在意義となります。その顧客が社会に対してやりたいことを一緒に実現していく。間接的ではありますが、アビームの存在意義は「社会」にあります。

## Business Athleteとして社会課題に取り組む

**森** 今年度から、ワークスタイル変革「Business Athlete」のテーマにSocial Contributionが加わっています。

**岩澤** 当社ではこれまでも社会課題の解決に向けてCSRの担当部署を中心に活動してきました。さらに、活動を加速するため、Business Athleteとして「心も身体も健康であること」に「社会課題を自分事ととらえ、持続可能な社会の実現に貢献すること」をテーマとして加えました。

**森** 各社員が自発的にビジネスをはじめとする社内外でのさまざまな活動を通じて、課題解決していくことに結びつけていきたいそうですね。

**岩澤** これまでのCSRの取り組みは社会に対する直接的な貢献でした。もちろん今後もいろいろな形で続けて

いきますが、それだけでなく、自分たちが普段やっていることが社会に対してどう影響を与えているのか、どのような効果をもたらしているのかを突き詰めてほしいです。

例えば、一つひとつの仕事を通じて、顧客だけでなく社会に対してどんな効果をもたらしているのかも考えることが重要です。

**森** そうなると企業の「社会感度」が大事になってきます。社会を見る目が養われると、社員に長期的な視点が生みついてきます。

**岩澤** 私自身は、社会の流れが企業にどんな影響を与えるのかを常に意識しています。社員一人ひとりが同様に考えてもらえたら、会社としても、さらに強くなるはずですよ。

【聞き手は「オルタナ」編集長・森 撰】

# CSR方針

当社では、2013年にCSR方針を策定し、MissionとVisionを掲げています。  
この方針に基づき、さまざまなCSR活動を展開しています。

## Mission

私たちは、コンサルティングサービスを通じて、クライアントに新たな成功をもたらし、持続可能な社会の実現に貢献します。

## Vision

1

私たちは、業務遂行にあたって不正が起こることを予防し、健全かつ公正な企業経営に努めます。

2

私たちは、優れたコンサルティングノウハウを基盤とした事業活動によって、良質なサービスをクライアントに提供します。

3

私たちは、良き企業市民として、画一的な貢献の形にとらわれることなく、貧困や教育をはじめとする社会的課題に対して、さまざまなパートナーと協力し、課題解決に向けて積極的に貢献します。

4

私たちは、事業活動において継続的な環境マネジメントの改善を行い、環境パフォーマンスの向上に努めるとともに、私たちの提供するサービス、その他の活動を通じて地球環境負荷の低減に貢献します。

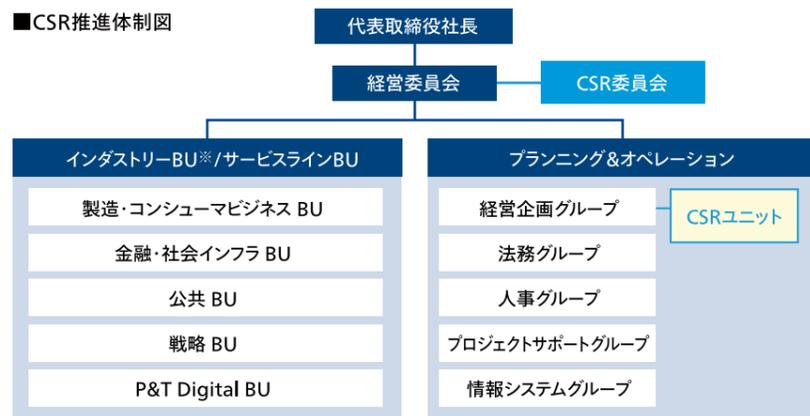
5

私たちは、全ての従業員にとって働きやすい、やりがいのある職場づくりに努めるとともに社会貢献活動を通じた自己実現や自己成長を図ることのできる意欲ある従業員を積極的に支援します。

## CSR推進体制

当社では、「CSR委員会」と「CSRユニット」の2つの組織により、CSR活動を経営と一体化させた形で推進しています。「CSR委員会」は、経営への諮問機関として方針や行動計画などの施策立案を行います。「CSRユニット」は、委員会で確定した方針の展開や行動計画を関係各部署と連携しながら実行しています。CSRユニットを構成するメンバーは、現場感覚を保持するため他部署を兼務するメンバーで構成されています。

■CSR推進体制図



※BU:ビジネスユニット

# Collective Impact: SDGsへの取り組み

コンサルティングファームである当社は、さまざまなステークホルダーとの共創型アプローチにより社会課題の解決に取り組み、コンサルティングの力でグローバル、ローカルを問わず、あらゆるSDGs(持続可能な開発目標)のゴール達成に貢献します。



## 共創型アプローチによるSDGsへの貢献

当社は、NGO、クライアント企業および行政、さらに社員との共創型アプローチにより、クライアントサービスやCSR活動などすべての事業活動を通して、SDGsの各ゴールの課題解決に貢献すべく、活動を展開していきます。  
また、社員個人が社会課題の解決に貢献できる人材となるべく、意識改革・人材育成に積極的に取り組みます。

# 社会課題解決に貢献する人材の育成

当社では、社員一人ひとりが生産性・効率性・創造性・品質を高め、能力を最大限発揮するためのWorkstyle Innovation『Business Athlete』を推進。Business Athleteを推進する4つのイニシアチブの内Social Contribution Initiativesでは、「社会課題の解決」という今後の企業経営に欠かせない資質を有した“人材”の育成に取り組むことをミッションとし、さまざまな取り組みを実施しています。

## Workstyle Innovation『Business Athlete』のVision

### ABeam Business Athlete™

アビームコンサルティングのコンサルタントは、卓越したプロフェッショナル、ビジネス界のアスリート『Business Athlete』である

頭・体・心のコンディションを十分に整え、生産性・創造性・品質を高めることで、個人としてチームとして、能力を最大限発揮し、提供価値を高め、クライアントおよび社会の持続的成長に貢献する



## Social Contribution Initiativesとは

### Social Contribution Initiativesが目指す姿

社員一人ひとりが社会課題を自分事としてとらえ、さまざまなステークホルダーと協働し、持続可能な社会の実現に貢献していること。

### Social Contribution InitiativesのMission

企業経営において、社会的存在意義の重要性が高まっています。アビームは、社会課題の解決・持続可能な社会の実現に貢献することを目指します。アビームのコンサルタントは、自らの社会的存在を認識し、仕事を含む社会生活において社会課題の解決を意識する必要があります。アビームは、これからのBusiness Athleteとして、クライアントの課題解決を通じて社会に貢献する「人材」の育成に取り組めます。

## Social Contribution Initiativesのゴール

当社は社員一人ひとりを社会課題解決ができる人材に育成し、ステークホルダーの社会への提供価値を高め、SDGsに代表される社会課題を解決していきます。



# 災害時の被害を軽減する 社会インフラづくり



災害などの緊急事態発生時には、住民からSNSを通じて多くの情報が発信されますが、それらの情報整理・分析は困難で、十分に活用できていないのが現状です。こうした情報を活用し、災害発生時の被害軽減に向けて、高度なAIを活用したプラットフォームの構築を、産学官連携にて進めています。

## 総務省委託事業：国民の安全・安心のために、ソーシャルメディア情報をAIで解析



当社は、2017年度から2年間、総務省の委託事業として「最先端の自然言語処理技術を活用した高度自然言語処理プラットフォームの研究開発」を受託しました。この事業では、人工知能技術を活用した高度自然言語処理プラットフォームの構築とその社会実装を進めています。平時に加えて災害や大規模事故、大規模感染症などの緊急事態発生時における国民の安全・安心の確保に役立てることを目的としており、災害医療、保健・

衛生、社会インフラ・防災、警備・セキュリティの4分野が対象となっています。また、この取り組みは、産業医科大学、東北大学病院、防災科学技術研究所と連携しながら進めています。

災害時には、住民がTwitter等のSNS（ソーシャル・ネットワークング・サービス）を通じて時々刻々と変化する情報を発信していて、その情報は臨場感と即時性を有する貴重な情報源となり得ます。しかし、情報過多な面や信頼性、重要性の見極めが困難などの課題があり、人的リソースが切迫する災害時に



においては情報整理や分析が現場の負担となり、十分に活用できていないのが実情でした。

このプラットフォームでは、最先端の人工知能

技術による自然言語処理を活用し、Twitter等に膨大に書き込まれる情報を自動で解析・整理する機能を実装しています。災害時等の混乱し、時間が無い中でも、効率的かつ迅速に、有益な解析結果を提供できるよう努めています。今後発生しうる災害を見据え、少しでも災害対応時等の負担軽減を行うと共に、救える命を救うことの一助となればと考えています。

## Staff Voice

災害という大きな課題に対して、最新の技術をどう活用してもらうか、日々試行錯誤しています。決して簡単に解決できる課題ではありませんが、少しでも社会貢献に繋がるよう引き続きチャレンジしていきます。



P&T Digital ビジネスユニット  
瓶子 正人  
へいし

# 公共交通機関の安定化を通じ、 「持続可能な輸送システムへの アクセス提供」に貢献



ミャンマー国内の鉄道事故原因の半数を占めている軌道状態の不備に対して、自動的かつ迅速にその兆候を発見できるシステムの現地実証実験に参画。鉄道ネットワークの改善による物流の効率化によって、地方部の経済活性化と市民の生活レベルの向上に貢献しています。

## ミャンマー国鉄の軌道保守業務をサポート

ミャンマーでは経済発展を支えるインフラとして鉄道網の新設が進められている一方で、保守不足による既存インフラの老朽化という問題も指摘されています。

当社は、2018年度に独立行政法人国際協力機構の委託事業としてアクト電子株式会社が実施した「ミャンマー国鉄軌道の点検作業向上にかかる基礎調査」に参画し、「同社のレーザー・ドップラ計測器\*を活用することで、鉄道資産の状態に合わせた維持管理活動(状態管理基準保全)を導入しやすくなる。」ということを実機デモンストレーションなどを通じて、ミャンマー国鉄の方々へ説明をさせていただきました。その結果、同社計

測器の有効性が確認され、より具体的なビジネス展開の検討に繋がりました。

\*レーザー光の波長変化を検知する測定器

## Staff Voice

独立行政法人国際協力機構の制度を活用した調査を通じて、日本企業の優れた技術がミャンマー国の社会課題解決に貢献できることを実測データを用いて示すことができました。



金融・社会インフラビジネスユニット  
竹内 知成

# RPA\*を活用した 空調管理の精緻化により、 省エネ・CO<sub>2</sub>削減に貢献



大規模施設の空調管理は、これまで稼働状況や気象変動などの変化に即した設備運用がなされていない場合が多く、冷やしすぎ・温めすぎなど、無駄にエネルギーを消費しているケースがあります。こういった課題に対して、「RPA」を活用し空調設定を自動化して、精緻な運用を実現することにより、エネルギーコスト・CO<sub>2</sub>排出の削減に貢献しています。

## 横浜銀行本店ビルの空調管理をサポート

大規模ビルなどにおけるエネルギー消費設備の運用は、竣工時の運用計画に基づき実施されることが通例となっており、稼働状況や気象条件などの実態に合わせた最適な運用ができていない場合が多くなっています。

当社は、従来から持っているデータ解析や運用ノウハウに基づき、バックオフィス業務の自動化等で利用される「RPA」を、日本で初めて空調管理業務にて活用することに成功しました。これにより、従来の人手による設備運用では実現が不可能な、きめ細やかな空調運用を実現。横浜銀行本店ビルでは、ビル全体のエネルギー消費の約14%を削減しました。エネルギーコスト削減・CO<sub>2</sub>削減に加え、ビル居住者の快適性も向上し、顧客満足度や不動産価値の向上にもつながっています。

今後は、大手デベロッパーの保有ビルをはじめ、エネルギー会社の大口顧客への展開を予定しています。

\*RPA(Robotic Process Automation): ロボットによってホワイトカラーの単純な間接業務を自動化する技術

## Staff Voice

ビル固有の空調運用ノウハウや特徴を理解して、細やかな指示をRPAに与えることで効果を上げています。そのため、定期的に中央監視室で管理者の方のお話を伺いながらプロジェクトを進めています。



金融・社会インフラビジネスユニット  
宮本 健吾



# 途上国の子供たちの 未来の可能性を育む



「ルーム・トゥ・リード(RTR)」は、途上国の子供たちに対して教育の機会を提供している世界的なNGOです。当社は2008年に日本初の法人パートナーとなり、10年以上にわたって継続した支援を行っています。毎年の企業寄付を通じ、これまでにアジア7カ国で35以上の図書館/図書室設立と、女子教育プログラムを支援しました。

## NGO「ルーム・トゥ・リード」の活動をサポート



2018年度は、これまでの企業寄付や資料作成支援などのプロボノ活動に加えて、新たなプロボノ活動としてRTRにボランティアで参画している学生インターンを対象としたワークショップを実施しました。ワークショップでは、インターンのスキルアップのみならず、RTRの今後の活動に活用ができるレベルの提言をすることを目標とし、半年間にわたり、

ロジカルシンキングなどのスキル講義と、問題発見・解決策検討のワークショップを実施しました。インターン生にとっては初めて触れるコンサルティングスキルでしたが、学んだスキルを用いて課題分析・解決策を取りまとめ、最終回でRTR職員の方向けに英語でのプレゼンテーションができました。

寄付によって各国に作られた図書館への訪問も毎年、継続的に実施しており、2018年度もカンボジアの小学校と図書室を訪問しました。

また、RTRが主催する寄付イベントにも社内から多くのボランティアが参加しています。特に、RTR現地職員と女子教育プログラムの修了生を招待した報告会は、RTRを支援するサポーター向けに毎年開催されているイベントであり、会場提供のみならず、企画から当日運営までを支援しています。2018年度は当社による現地視察報告を併せて企画、

実施しました。

今後はそれぞれの活動に対してさらに関与することでRTRの団体運営に寄与するだけでなく、参加すること自体が社員にとって本業につながるようなスキルアップとなる活動を継続的に行うことで、お互いにウィン・ウィンになれるような関係を築いていくことを目指しています。

## Partner's Voice

社員の方々からのサポートが年々進化されていると感じます。大学生のインターン3名への研修をはじめ、支援国から来日した女子教育プログラム修了生を招いての講演会の開催など、新たな取り組みが生まれています！



認定NPO法人  
ルーム・トゥ・リード・ジャパン 事務局長  
松丸 佳穂 様

# あらゆる場所のすべての人に 水と衛生を届ける支援活動



「ウォーターエイド」は清潔な水と衛生へのアクセスを改善することによって、人々の生活を変えていくことを目指す国際NGOです。当社は、2013年のウォーターエイドジャパン設立時から支援を開始し、企業寄付やプロボノなどの支援活動をはじめ、社内外での啓蒙活動といった多面的な支援活動を続けています。

## NGO「ウォーターエイド」の活動をサポート

当社ではこれまで、業務マニュアルの整備やウォーターエイドジャパン公式ウェブサイトの改善提案などのプロボノ活動を行ってきました。また、当社社員がウォーターエイドジャパンのチャリティランナーとして大阪マラソンに出走し、社内からの寄付金を集めるとともに、社内外へのウォーターエイドジャパンの認知度向上に貢献しました。さらに、ウォーターエイド現地法人の協力のもと寄付先のプロジェクトの視察を継続的に実施しており、直近ではインドのスラムや衛生プロジェクトを訪問しました。

今後は、これまでの支援に加えて、コンサルティング

会社ならではのスキル・知見を活かせるプロボノ活動により注力し、新たな支援の形も模索していきます。

### Partner's Voice

社員の皆さまによるプロボノ活動によって、世界のより多くの人々に清潔な水と衛生環境を届けるために必要な、しっかりとした組織基盤を作ることができてきていると実感しています。



特定非営利活動法人  
ウォーターエイドジャパン 事務局長  
高橋 郁 様

# ふるさと納税の活用推進を通じ 地域の活性化、地方創生に貢献



当社では地方創生活動として、東日本大震災復興支援活動、プロサッカーチーム「モンテディオ山形」への支援活動、沖縄県座間味村の観光・文化支援活動を行ってきましたが、2018年度より「ふるさと納税セミナー」も開始しました。

## 社内でふるさと納税セミナーの開催

ふるさと納税セミナーは入社1年目の社員が中心となって企画提案し、ふるさと納税仲介サイトである「ふるさとチョイス」運営の株式会社トラストバンクの協力のもと実現した活動です。

セミナーでは、当社社員のふるさと納税制度の利用者を増やすことを目的として、制度の利用手順の説明や返礼品の試食会を行いました。トラストバンクからご紹介いただく地方の生産者の想いや、「思いやり型返礼品」といった新しいタイプの返礼品の説明により、表面的な制度利用からは見えづらい地方創生の効果を当社社員も実感することができました。

2018年度のセミナーは参加者募集から数時間で満席

となり、当社社員のニーズの高さを受けて、2019年度も年3～4回程度の継続的な開催を予定しています。

### Partner's Voice

議論の末に制度が見直されたふるさと納税ですが、従来からふるさと納税は確実に地域に役立ち、たくさんの変化をもたらしています。このような取り組みによって制度について正しく理解いただくことを、地域の人々も私たちも嬉しく思っています。



株式会社トラストバンク  
ふるさと納税エバンジェリスト  
田村 悠揮 様



# 01

## NPOとの協働で 富士山の自然環境保全に貢献

CSRユニット環境管理チームでは認定NPO法人富士山クラブと協力し、富士山の外来植物の駆除および清掃活動を毎年行っています。さらにプロボノ活動として富士山クラブの新人研修サポートなどにもチャレンジしており、今後もさらなる協業を推進し、富士山の自然環境保全に貢献します。



認定NPO法人富士山クラブ 深澤 寛貴 様  
認定NPO法人富士山クラブ 中本 宏幸 様  
CSRユニット 穴倉 功  
CSRユニット 五十石 友洋  
CSRユニット 齋藤 裕一郎

# 02

## チャリティリレーに参加し、 社員のパフォーマンス向上と 社会貢献に寄与

当社のワークスタイル変革『Business Athlete』を推進するイニシアチブの1つであるWell-Being Initiativesは、社員のパフォーマンス向上を目的として活動しています。Social Contribution Initiativesと協力して、Bloomberg Square Mile Relayというチャリティリレーに、当社から2チームが参加しました。普段は社員のパフォーマンス向上に注力していますが、社会貢献について考える良い機会となりました。今後も継続して参加予定です。



金融・社会インフラ  
ビジネスユニット 豊田 基  
P&T Digital  
ビジネスユニット 好田 盛也  
P&T Digital  
ビジネスユニット 松永 万澄

## 社会課題の解決へ コンサルティングの知見も活用しています

さまざまな専門分野に精通したプロフェッショナルがプロジェクトチームを組み、コンサルティング業務やプロボノなどの社会貢献活動を通じて、積極的に社会課題と向き合い、解決のために取り組んでいます。

# 03

## フレッシュなパワーで 「子どもが売られない世界」の 実現に向けた資金調達をサポート

当社のCSR活動は、社会課題に関心の高い若手社員が積極的に参画していることが特徴です。「かものはしプロジェクト」へのプロボノでは、若手社員が中心となり団体のファンドレイジング（資金調達）の支援をすることで、団体のミッションである「子どもが売られない世界」の実現への貢献に加えて、「若手社員自身の成長」という効果も生み出しています。



CSRユニット 岡田 進太郎  
CSRユニット 村川 諄衣  
CSRユニット 藤戸 笑実  
CSRユニット 江原 由梨

# 04

## スペシャリストの育成で グローバルな金融犯罪に 対峙するお客さまを支援

世界の金融機関では反社会的組織による資金の取得・移動・隠ぺいや、高度化するサイバー攻撃などを抑止するためにさまざまな対策を講じています。こうした社会の安全に寄与するお客さまの活動を支援するため、当社ではマネーロンダリング対策に係る国家資格「公認AMLスペシャリスト資格」の取得を推奨し、国際水準かつ専門性の高いサービスをグローバルに提供できる体制を整えています。



金融・社会インフラ  
ビジネスユニット 古川 雅秀  
P&T Digital  
ビジネスユニット 笹本 奈津代  
金融・社会インフラ  
ビジネスユニット 大橋 綾子  
金融・社会インフラ  
ビジネスユニット 石川 慎一郎  
金融・社会インフラ  
ビジネスユニット 金森 勇太

# アビームはCSR/SDGsに関連する 多彩な活動を展開しています

## CSR活動

### 地方創生

#### 沖縄県座間味村を訪問し、 村の活性化に向けた活動を実施

当社社員が沖縄県座間味村を訪問し、村役場との意見交換会やサゴの植苗体験などを実施しました。従来からサバニ帆漕レースなどを通じてつながりが深い座間味村についての理解を深めるとともに、今後の村の活性化に向けた可能性を探ることができました。



### 環境保全

#### ビーチクリーン活動に 社員・家族約120名が参加

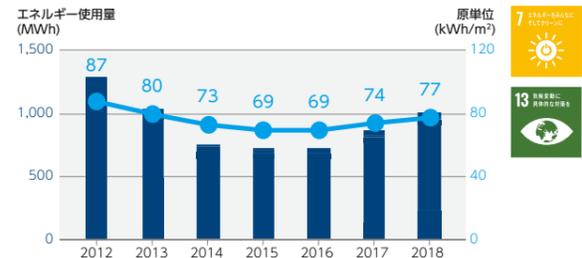
当社ヨット部が神奈川県三戸浜の施設を利用していた経緯から、2006年より活動を開始し、2018年度も120名規模での海岸清掃活動を行いました。拾ったゴミの分別(リサイクルの推進)を通じて社員やその家族の環境意識を育む活動を継続しています。



### エネルギー管理

#### オフィスにおける 省エネルギーを推進

当社の国内拠点では、エネルギー量のモニタリングを行いながら、夜間の自動消灯やエリア毎の空調設定など運用面での改善を継続的に実施しています。2018年度はオフィスの増床および稼働時間延長により使用量・原単位ともに前年度より増加しました。詳細な原因を分析し、必要な対策を講じます。



### NPO支援

#### 途上国の児童買春問題解決に 向けた活動を支援

「子どもが売られない世界をつくる」ことを目指し、アジアで活動するNPO団体「かものはしプロジェクト」。当社は2016年度から支援を開始し、2018年度は寄付などの資金提供に留まらず、団体自体の資金調達業務の改革などをプロボノ活動として行っています。



## Business Athlete推進

### Smart Work

#### 個々の能力を最大限発揮できる 労働環境を構築

社員一人ひとりがより自由に、より知的に、より活き活きと働くことを目指して取り組んでいます。フリーロケーション制度、フレックスタイム制導入をはじめ、クライアント向けの説明リーフレットを作成し、巻き込みを図っています。



### Diversity & Inclusion

#### 多様性を認め、個人を尊重する 職場づくりを推進

多様性のある職場でどのような人でも安心して働き続けることができる環境を整え、一人ひとりが個性を生かしながら貢献・成長できることを目指しています。さまざまなセミナーを開催し、多様な人材が活躍できる組織風土を醸成しています。



### Well-Being

#### パフォーマンス向上を実現する 環境整備や意識改革

社員が長期的に高いパフォーマンスを発揮するために、睡眠、食事、運動などの生活習慣の維持やコーチングにより社員の目標達成を後押しするポジティブヘルスケアアプローチを行います。外部講師を招いたイベントを定期的実施しています。



## コンサルティングプロジェクト

### 衛星画像解析災害支援

#### 人工衛星画像とAIを活用した 被災分析の実証実験

自然災害対策への取り組みとして、AIを活用した地理情報解析の優れた技術を持つアメリカのベンチャー企業Orbital Insight社と東京海上日動火災保険との共同プロジェクトを実施しています。人工衛星画像とAIを活用した被災分析の実証実験を進めています。



### 大学寄付講座

#### 未来の社会イノベーション人材を 育成するための寄付講座を開講

毎年、京都大学経営管理大学院で中期の寄付講座を開講しています。「社会課題をビジネスで解決する方法論」の講義を行ったうえで、受講生自身が「フィールドワークを通じて京都の社会課題を解決する新たなビジネスモデル」を企画するプログラムを行い、未来の社会イノベーション人材を育成しています。



### IoT活用による行動変容

#### IoTデータの自動フィードバックを 活用して生活習慣を改善

あいち健康の森健康科学総合センターでは、ウェアラブル端末から取得した活動量・体重・血圧等の情報や食事記録を活用した生活習慣改善指導方法を開発しており、当社はアプリ開発や機械学習によるデータ分析の技術支援を行っています。

